

皆様お待たせしました！！ “みんなでピッして東日本を応援しようキャンペーン”の第一回集計が終わり、支援先と支援物資が決定しましたので、ご報告させていただきます。

● **第一回集計結果** **支援金額 約 184,690 円**

(平成 23 年 5 月 15 日～平成 23 年 6 月 14 日のカウント集計をもとに算出)

● **支援先・支援物資・支援先状況**



支援先・支援物資につきましては、最新の被災地のニーズに対応するため、文部科学省の HP に掲載されている「子どもの学び支援ポータルサイト」を参照し、支援先担当者の方と連絡をとった上で、決定しております。

支援先①

宮城県気仙沼市立九条小学校

支援物資:国語辞典 37 冊提供
(ジェイサチでも使用の黄色い辞書)

〈気仙沼市立九条小学校 教頭先生より〉

当校では小学校 3 年生から国語辞典の学習を始めています。同じものが揃っているということは、授業を行う上でも大いに役立ちます。ありがとうございます。

※気仙沼市内の小中学校。津波で大きな被害を受けた地域からは離れています。現在避難所としても使用され、気仙沼市内の生徒がこちらに転入してきています。今回は、この小学校に避難してきた小 3 生以上の約 37 人に対し国語辞典を配布します。



福島に送った塾生のみなさんからの応援メッセージです。

★支援物資のエフロン★



★支援物資の国語辞典★



支援先②

福島県大熊町教育委員会

支援物資:児童用の給食エフロン
(新品 136 着提供)

〈大熊町教育委員会の教育総務課の鈴木様より〉

廃校をお借りして、ゼロからスタートした学校生活。子供達は、終わりの見えない状況であっても、頑張っています。よろしくお願いします。

※大熊町教育委員会。平成 23 年 4 月 22 日(金)午前 0 時より、福島第一原子力発電所から半径 20km 圏内の避難指示区域が、強制的に立ち入りを制限される「警戒区域」になりました。そのため福島原発の町、大熊町が丸ごと移転しました。現在会津若松市に役場を置き、そこで廃校をお借りして学校生活を送っています。現在、熊町小学校・大野小学校・大熊中学校、総勢 700 名近くの生徒がいます。

九条小学校の生徒さんにあてた塾生のみなさんからの応援メッセージです。



みなさん、夏期講習会がんばっていますね！東日本のお友達も、猛暑の中、引き続きがんばっておられますよ。さて“みんなでピッして東日本を応援しようキャンペーン”の第2回集計が終わり、支援先と支援物資が決定しましたので、ご報告させていただきますね。



● 第2回集計結果 支援金額 約 212,980 円

(平成23年6月15日～平成23年7月15日のカウント集計をもとに算出)

● 支援先・支援物資・支援先状況

支援先・支援物資につきましては、最新の被災地のニーズに対応するため、文部科学省のHPに掲載されている「子どもの学び支援ポータルサイト」を参照し、支援先担当者の方と連絡をとった上で、決定しております。

支援先①

宮城県山元町立山下中学校

支援物資: 首に巻く清涼グッズ

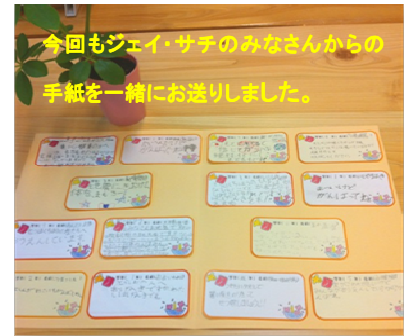
350 個

〈山元町立山下中学校より〉

連日の猛暑により教室が30℃を超えている状況です。震災により授業日数を確保するため土曜日、または夏休み等を短縮するため生徒の授業日数が増えているため、熱中症の症状が増えています。協力をお願いします。



今回の支援先の宮城県山元町の津波直後の様子です。



今回もジェイ・サチのみなさんからの手紙を一緒にお送りしました。

★支援物資の首に巻く清涼グッズ★



★ありがとう！のご報告★



●先月エプロンを提供しました、大熊町教育委員会 鈴木様よりお礼の手紙と写真がきました！

「早速、学級名とか、通し番号の記入をしました。

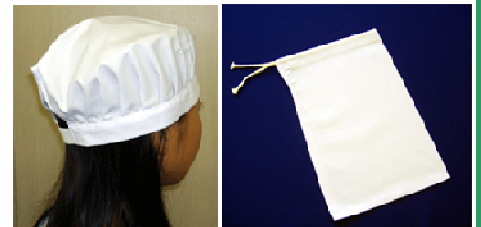
写真は熊町小学校(左)と大野小学校(右)の校長先生です。本当にありがとうございました！」

●先月国語辞典をお送りしました。九条小学校の校長先生よりお礼のお書物がきました！一部紹介します。

「現在351名の子ども達が在籍しており、そのうち約6分の1の生徒が震災で被害をうけて転校してきました～略～5月末には運動会が開催され保護者や地域の皆様の声援をうけて活気あふれる競技を披露することができました子どもたちの力の育成をしていくことが気仙沼の復興の一つになるものと確信し、日々教育活動に取り組んでいます～略～ご支援ありがとうございました。」



★支援物資の給食用帽子&給食袋



支援先②

福島県大熊町教育委員会

支援物資: 児童用の給食用帽子&給食袋 (前回のエプロンに引き続き)

新品 136 着提供)

〈大熊町教育委員会の総務課の鈴木様より〉

廃校をお借りして、ゼロからスタートした学校生活。子供達は、終わりの見えない状況であっても、頑張っています。よろしくお願いします。

お待たせしました！！東日本応援キャンペーンの第3回集計が終わり、支援先と支援物資が決定しましたのでご報告いたしますね。被災者の方々は、がんばってこの夏を乗り切り、一步步復興に向けて歩み続けておられます。今回は先回に比べ、少し“ピッ”の回数が少なかったのですが、ジェイ・サチのみなさんも、しっかりお勉強しつつ、東日本を応援する気持ちを持ち続け、まだまだ続くこのキャンペーンにご協力ください。ささやかでも、一人ひとりが行動を起こすことで、よりよい未来を実現できると信じましょう！！



● 第3回集計結果 支援金額 約 146,700 円

(平成23年7月16日～平成23年8月15日のカウント集計をもとに算出)

● 支援先・支援物資・支援先状況

支援先・支援物資につきましては、最新の被災地のニーズに対応するため、文部科学省のHPに掲載されている「子どもの学び支援ポータルサイト」を参照し、支援先担当者の方と連絡をとった上で、決定しております。

支援先

富岡町立富岡第一中学校 他

支援物資：児童用の跳び箱に使用する
踏切り板3枚&移動式鉄棒1台

(富岡町立富岡第一中学校教諭の村上様より)

“早速のお返事とご支援ありがとうございます。”

福島原発事故20km警戒区域内にある富岡町立富岡第一中学校教諭の村上と申します。

現在、県内の郡山市に町内小学校2校と中学校2校が合同で事務局を持ち、2学期より学校を別の場所（ブレーキ工場を改築）に立ち上げ再開します。9月1日の学校再開に向けて準備を進めています。踏切り板と移動式鉄棒でよろしくお願いたします。

富岡町小中学校事務局 村上



避難区域内の様子・・・誰も住んでいない地域に、取り残された犬だけが道路を歩いています。

今回は幼児さんと幼児さんの保護者の方のお手紙を、支援物資と一緒に送りました。



★ 支援物資 ★



移動式鉄棒
1台



福島・富岡町で7月6日、警戒区域で初めての慰霊が行われました。

富岡町では16人が犠牲になりました。

(参加者は放射能の被曝を防ぐために防護服を着用しています。)



福島県田村郡三春町へ移転

福島第一原発

跳び箱用
踏切り板
3枚



ありがとうございますご報告

山元町立山下中学校に送った清涼グッズがお隣の山元町立山下小学校にも提供されました。

支援先の山下小学校の柴校長先生より、お電話をいただきました。

“ご支援いただきありがとうございます。中学校より生徒分を分けて頂き本当に助かりました。

7月いっぱいまで授業を行い、すぐに2学期が始まります。

暑さ対策で悩んでいた時のご支援でしたので非常に助かりました。本当にありがとうございました”

支援物資：

首に巻く清涼グッズ 350個

